

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成29年2月28日

計画の名称	37 鹿児島県におけるストック効果を高めるアクセス道路整備			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）	交付対象	鹿児島県、志布志市、南九州市、始良市		
計画の目標					

鹿児島県は我が国の食の供給基地として、かごしま黒豚など優れた農畜産物を全国に出荷するとともに、桜島や霧島など人気のある観光地を有している。公共交通機関が未発達の本県は、自動車交通に大きく依存しており、地域間競争に勝ち抜くため、九州縦貫自動車道などの高速道路や空港・港湾・ICなどへのアクセス道路や工業団地の造成など民間投資と連携して行われるアクセス道路を整備することにより、農林水産業の振興や観光拠点を活用した地域振興を支援し、県内外における地域間交流の活性化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

・道路整備により安心・快適な走行時間とゆりの時間を237時間（H32末）創出

定量的指標の定義及び算定式

創出される安心・快適な走行とゆりの時間を算出
 [安心走行時間] [ゆり時間]
 「安心とゆりの創出時間」＝（改良後延長／将来速度）×将来交通量 ＋ （現況延長／現況速度）－（改良後延長／将来速度）×将来交通量

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)	
0 時間	233時間	237時間	・都城広域定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業 A3, A4 ・鹿児島県地域強靱化計画に基づき実施される要素事業 A5

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	6,206百万円	A	6,206百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	-----	---	-----	---	-----	-----------------------------	------

交付対象事業

A 道路事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H28	H29	H30	H31	H32				
37-A-1	道路	一般	始良市	直接	始良市	改築	(1) 鍋倉～触田線外・西餅田工区	現道拡幅 L=1.9km	始良市						924			
37-A-2	道路	一般	南九州市	直接	南九州市	改築	(他) 木佐貫原上線・郡工区	現道拡幅 L=0.98km	南九州市						122			
37-A-3	道路	一般	志布志市	直接	志布志市	改築	(1) 香月線・安楽工区	現道拡幅 L=0.7km	志布志市						1,400			
37-A-4	道路	一般	志布志市	直接	志布志市	改築	(1) 吉村山ノ口1号線・菅牟田工区	現道拡幅 L=0.4km	志布志市						100			
37-A-5	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	改築	(国) 4 4 7号 青木バイパス	バイパス L=1.9km	伊佐市						160			
37-A-6	道路	一般	志布志市	直接	志布志市	改築	(他) 飯山通山線・飯山工区	現道拡幅 L=0.73km	志布志市						500			
37-A-7	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	改築	(国) 5 0 4号 西光寺拡幅	バイパス L=3.7km	霧島市						3,000			H29:P14から移行
合計															6,206			

B 関連社会資本整備事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	H28	H29	H30	H31	H32			
合計																	

C 効果促進事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
C1 道路効果促進事業										H28	H29	H30	H31	H32		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名							
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

D 社会資本整備+A62:270億円滑化地籍整備事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	H28	H29	H30	H31	H32			
合計															0	
合計															0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

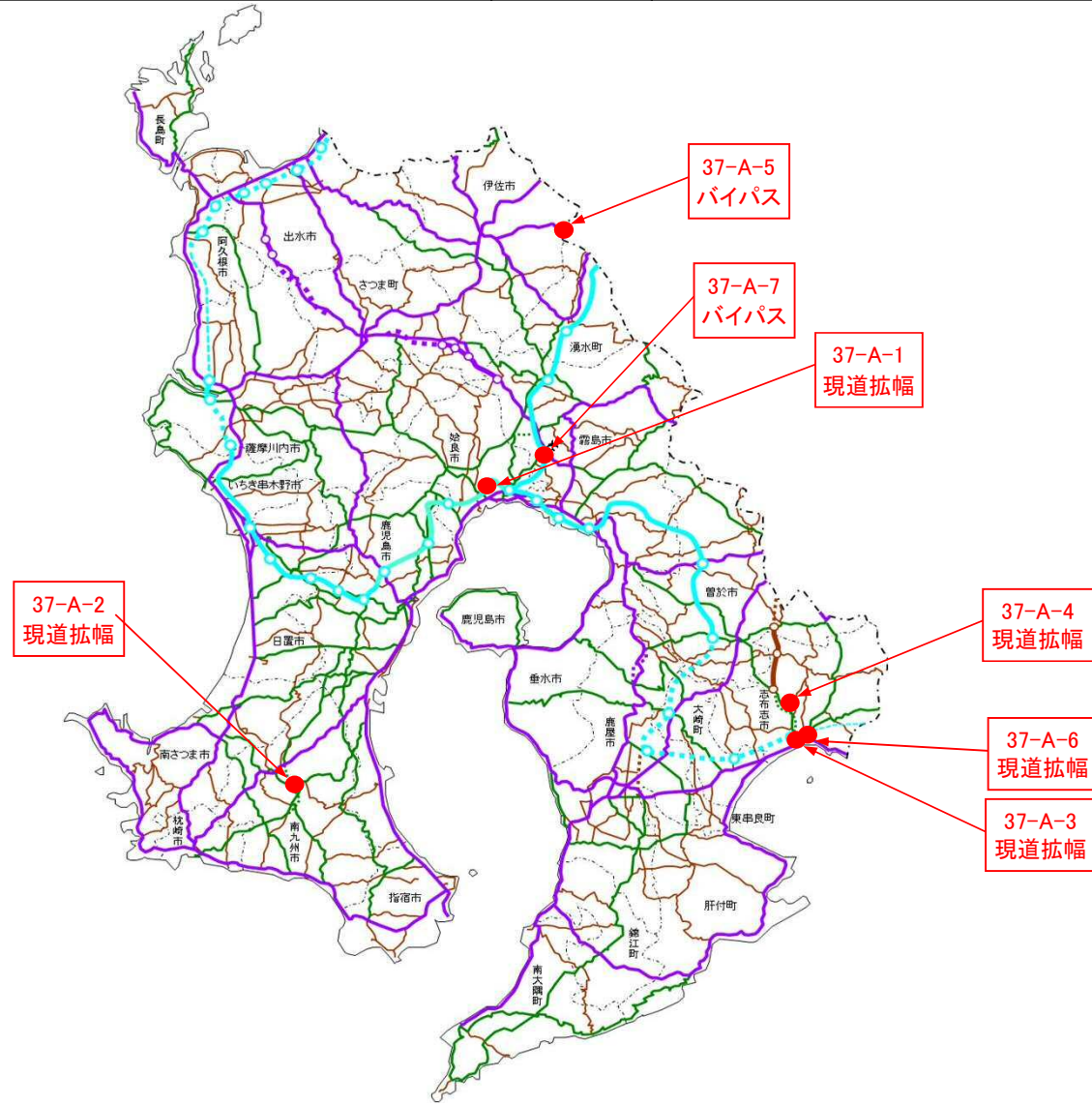
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	1,003.103				
計画別流用 増△減額 (b)	0.000				
交付額 (c=a+b)	1,003.103				
前年度からの繰越額 (d)	0.000				
支払済額 (e)	394.457				
翌年度繰越額 (f)	608.646				
うち未契約繰越額 (g)	240.054				
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	23.9%				
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	用地の取得に不測 の目数を要したため				

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	37 鹿児島県におけるストック効果をもつアクセス道路整備	交付対象	鹿児島県、志布志市、南九州市、姶良市
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）		



社会資本整備総合交付金チェックシート

(社会資本整備総合交付金事業)

計画の名称：鹿児島県におけるストック効果を高めるアクセス道路整備

事業主体名：鹿児島県, 始良市, 南九州市, 志布志市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
⑤指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
⑥指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
⑦十分な事業効果が見込める。	○
⑧他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑨計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
⑩地域の協力が見込める。	○
⑪関連する地方公共団体等との調整が図られている。	○